

平成 19 年 5 月 23 日

東証の上場廃止決定を受けての当社の見解

株式会社インターネット総合研究所
代表取締役所長 藤原 洋

当社は、去る 3 月 30 日付にて、東京証券取引所から当社の半期報告書に対する監査法人の監査意見が表明されないことを理由に監理ポストに入って以来、上場維持か否かの審査を受けてまいりました。当社の株式が監理ポストに入った後、東京証券取引所からの当社の上場審査に対する質問には、回答や資料提供を行い、真摯に対応してまいりましたが、本日、突然、上場廃止決定の通告がなされました。当社の潔白性は認められたものの、かつて東証二部上場企業であった IXI が長期にわたる不正循環取引に起因する経営破綻によって、IXI 決算が確定せず、この状況の中で当社が正確だと判断する財務諸表を作成し提出を行ってまいりました。しかしながら、東証の審査結果による、本日の上場廃止決定の理由については、誠に遺憾であり、当然、納得できるものではないと考えております。

当社といたしましては、大変遺憾な決定ではありますが、当社グループの事業は、株主の皆様のご支援によって育ててきた、技術に基づく高い成長性をもつ事業を多くかかえております。株主の皆様と多くの優良顧客と優秀な従業員によって支えられてきた企業価値は、今回の決定によって何ら毀損するものではないと確信しております。本日の決定によって、残念ながら、当社単独での上場維持という道は短期的には絶たれましたが、今後は、株主の皆様の資産保全の立場に立ち、当社が行うべきいくつかの選択肢の中から最善と思われる再生策を探っていく所存であります。